

第4回庁舎建設委員会時に発言のあった事項（要点）

- ①有事の際、隣接する広域避難所（氷川小学校）との連携が必要ではないか。新庁舎は、防災拠点としての役割。

- ②セキュリティ対策とオープン（開放）のバランスをどうとるのか？執務空間と利用者空間の明確な区分（適切なセキュリティ対策）。

- ③ICT技術の導入と、職員による個別の状況に応じた、きめ細かい対応（対面式）の両立が求められる。

- ④外構（屋外）を有効活用し、町民が関わりを持てるスペースの確保と駐車場のあり方（来庁者と観光客との利用バランス）。

- ⑤建設候補地は、細長い敷地のため、コスト面だけではなく敷地特性を活かした形態のあり方を検討する必要がある。

- ⑥新庁舎へのアクセスに関しては、踏切や坂道を利用する現状の課題があるため、奥多摩工業側からの新たな進入路の整備（自動車用）やJR青梅線奥多摩駅からの直結通路の設置（歩行者用）など、関係機関との協議・調整が必要となってくる。

⑦新庁舎建設にあたっては、多摩産材等の木材活用を積極的に検討・推進する必要がある。

A large, empty rounded rectangular box with a blue border, intended for additional information or notes related to the first point.

⑧現庁舎跡地については、駐車場不足の現状を鑑み、駐車スペースとしての活用も視野に入れ検討する必要がある。

A large, empty rounded rectangular box with a blue border, intended for additional information or notes related to the second point.